

書評

看護にいかす
インストラクショナル
デザイン効果的・効率的・魅力的な
研修企画を目指して

- 著 浅香えみ子
- 定価 本体 2800 円 + 税
- 発行 医学書院

評者

がん看護専門看護師
インストラクショナルデザイナー
四国がんセンター 臨床研究センター研究員
熊本大学 教授システム学研究センター連携研究員
菊内由貴

インストラクショナルデザインを
体験しながら研修改善が目指せる本臨床看護師教育の現場で
活用できる

医療の進歩に伴い臨床看護師に研修すべき内容は膨大な量に及ぶ一方、教育について専門的に学ぶことができる機会はほとんどない。教育担当者は、たとえ教育の専門的な知識がなくても、とにかく研修を企画運営しなければならず、研修方法や研修効果に疑問を抱きながら悪戦苦闘している現状がある。

私自身、がん看護専門看護師として、教育を通じた臨床現場の質向上に貢献したいと考え、自施設内外の教育企画に携わってきた。この中で、学習到達度が不十分であっても、研修時間数をクリアすれば一律に修了となることに大いに疑問を持った。研修で獲得できる能力や合格基準が不明確であるために、明らかに能力不足の研修生でも、不合格にできないという研修設計上の問題である。このような現状を何とかしなければと試行錯誤したが、どれも焼け石に水であった。

そんな折に教育設計を専門的に学ぶことができる熊本大学大学院（教授システム学）の存在を知り、すぐさま受験を決めた。インストラクショナルデザイン（Instructional Design：以下、ID）を中心とした大学院での学びはどれも私の困りごとを解決する道しるべとなるものばかりであった。現在も医療者教育分野の独自性をふまえたID理論活用のために、さらなる研究に取り組んでいる。臨床看護師教育の現場で具体的に活用できる本書が出版されたことは、非常に嬉しいことである。

効率的に学べる本書の魅力

IDとは、教育活動の効果・効率・魅力を高めるための手法を集大成したモデルや研究分野、またはそれらを応用して

学習支援環境を実現するプロセスのことを指す¹⁾。

本書は6つのPartから構成され、IDの理論を基盤として、看護師に対する研修の構造を見直し、学びを促進させるため研修改善のポイントを解説している。

本書の魅力を2点あげたい。1つは、実際に研修企画に奔走してきた筆者だからこそ、現場での困りごとの生々しさを再現し、読者の現実的な学びを促進させている点である。もう1つは、豊富なツールの提供により、単にIDの知識を得るだけでなく、読者がIDの理論を活用して研修改善に向かうための具体的なスキル獲得を促している点である。読者は、実際にID理論の1つADDIEモデルのプロセスを、自らの研修を材料に体験できる。またワークシートやリフレクションのための筆者の問いかけを前に、読者は自らの経験を振り返り、さらなる改善に向け自問自答することで自然な学びが得られていく。これは本書自体が、ID理論を踏まえ読者の学びを促進させるようデザインされた成果であろう。

人の学びを効果的・効率的・魅力的にするたくさんのID理論を学び取り入れるには、大きな労力を要する。本書は、多くのID理論の中から、看護師教育にすぐに役立ちそうなものを厳選しているため、読者は効率的に学べるメリットがある。本書により、教育担当者だけではなく、管理者やリソースナースなど教育的役割を持つ看護師、実践者としての看護師など、さまざまな立場から専門職としての「学び」について改めて考える機会となることを心より期待している。

引用・参考文献

- 1) 鈴木克明：総説 e-Learning 実践のためのインストラクショナル・デザイン。日本教育工学会誌, 28 (3), 2005.